

【 1 . 水と緑の景観軸 ( 隅田川・荒川軸、旧中川軸、北十間川・横十間川軸、豎川軸 )】 工作物・景観形成説明書

項 目	景観形成基準	配慮事項 ( 配慮事項を記載して下さい )	照合	現況の把握・分析 と 計画での具体的な配慮事項	照合
高 さ 規 模	川の水上、対岸、橋梁、遊歩道から見たときに、 圧迫感を感じさせないような隣棟間隔を確保し、 長大な壁面の工作物は避ける。				
形 態 意 匠	川の水上、対岸、橋梁などの主要な眺望点から見たときに、 水辺の自然環境や周辺建築物と調和する形態・意匠とする。				
色 彩	色彩は、色彩基準に適合するとともに、水や緑の 色彩が映える潤いのある景観を形成するよう配慮する。			<	
素 材	外壁の色彩や素材は、隣接する建築物や周辺景観との調和を図る。				